

誰もがつながり支え合って安心して暮らせる まち 上尾

あげお社協だより

171号

令和5年(2023)
2月1日号

年3回
(6月・10月・2月)
発行



堤崎お茶のみ会
「フラワーアレンジメントの体験」

特集
1

地域の取り組みミニマライズコロナ

社協西上尾第二団地支部

「ミニミニティカフエ」わいわい

特集
2

小中学生作文コンクール

「感謝と成長のエピソード」

「支えあいの実体験を通して感じた思い」

第32回地域福祉を考える集い

「災害に備える」

「私たちが何ができるのか」

- 利用者さんと地域との関わり「誰もが支え合える地域社会を目指して」
- 火災・災害時における支援活動
- 生活福祉資金貸付のご案内
- 感謝顕彰対象者のご紹介・善意銀行及びボランティア基金の報告
- 令和4年度共同募金運動の報告・上尾市社会福祉協議会会員募集の報告
- **お知らせ掲示板**
(傾聴ボランティア入門講座の開催・成年後見制度講習会の開催・あげおファミリー・サポート・センターアドバイザー募集・サービス提供責任者募集・ボランティア活動保険のご案内)

編集
発行人

社会福祉法人
上尾市社会福祉協議会・上尾市ボランティアセンター
〒362-0011 上尾市大字平塚724番地 上尾市総合福祉センター内
TEL 048-773-7155 FAX 048-772-8647
この社協だよりは、共同募金配分金を活用し発行しています。

上尾市社協はこちらから/
Mail / ageo-sha@mb.jnc.ne.jp

あげお社協

〈公式 Twitter〉
https://twitter.com/ageo_shakyo



●ポスティングに関するお問い合わせは、(株)埼玉ロジスティックス(048-726-9240)までご連絡ください。

住み慣れた地域に みんなが楽しく **わいわい** 集える場所を



社協西上尾第二団地支部 コミュニティカフェ「わいわい」

多くの方に足を運んでもらいたい ～ コロナに負けず 人とのつながりを ～

昨年9月、西上尾第二団地の中心に、念願だったコミュニティカフェ「わいわい」がオープンしました。

3年前に行った社協支部活動についての住民アンケートで、「団地の中にお食事のできるところがない」「ゆつくりお茶を飲める場所がほしい」といった声が多くあり、支部福祉委員や自治会等の関係機関が時間をかけて検討を重ねてきました。

コロナ禍でのオープンに迷いもありました。しかし、コロナ禍の今だからこそ、人と人とのつながりを絶やさないうために、世代を問わず誰もが気軽に立ち寄れる「集いの場」の必要性を感じ、立ち上げに至りました。

10月には、子どもたちや子育て世代の方にも来てもらおうと、「子ども食堂」を合わせて開催し

ました。祝日だったこともあり、団地在住の高校生がボランティアスタッフとしてお手伝いに来てくれ、子どもたちの元気な声が溢れる、にぎやかで「わいわい」と楽しい集いの場になりました。

月1回の開催ですが、多くの方が気軽に足を運んでくださっています。スタッフからも、「これまであまり外に出かけることがなかった方にも気軽に足を運んでもらいたい」「子どもから高齢の方まで世代を問わず交流できるような場にしていきたい」と、今後の熱い思いが聞こえてきています。

コロナ禍、感染予防対策を徹底し、工夫を凝らして「人と人とのつながり」を大切にしている取り組みです。ぜひ、みなさんの身近な地域の活動に足を運んでみてください。



◀高校生もボランティアでお手伝い



◀心のこもった手作りメニュー



◀パネルで感染対策

「ご近所さん、ありがとう」

総合福祉センター内にある障害福祉サービス事業

所”かしの木園“では、現在28名の利用者が自宅やグループホームから通い、生活介護の支援を受けながら作業や余暇活動に取り組んでいます。創設当初から通っていたTさんは、現在グループホームから別の事業所に通っています。ご両親との3人暮らしだったところのご近所の方との温かいエピソードについてご紹介します。

”かしの木園“での作業の一つに、アルミ缶のプレス作業があります。母親がアルミ缶集めのためにご近所の方に声をかけると、数人のご近所の方が協力してくれるようになり、それをきっかけにTさんとご近所の方との交流が始まりました。ご近所の方とは挨拶から始まり、休みの日には一緒に散歩をするようになりました。

また、ご両親共に働いていた時期に、帰りのバス停への迎えが間に合わない日には、ご近所の方に迎えに行ってもらった日が何回もありました。Tさんを自宅まで送り届けて、母親の帰りを待っていてくれたこともあり、当手を振り返って「大変助かっていました」と話していました。

そして、夏の時期になるとTさんの希望を中心に旅行を企画してくれるようになり、ご両親は参加せずTさんとご近所の方だけで温泉に行くこともありました。この時期になるとTさんは旅行を思い出し、「○○さん、○○さん」とご近所の方の名前を言うようになりました。

福祉サービスを利用している方は、自宅や施設などの限られた場所のみの関わりになりますが、このような地域の人たちとの関わりやふれあいがあることによってたくさんの経験をし、人生が豊かなものになっていくと思います。皆さんのお住まいの地域でも、このエピソードを通じてちょっとした”ふれあい“について考えていただけたら幸いです。

障害があっても自分らしく

身体障害者福祉センター”ふれあいハウス“を利用して2年目の吉野誠さん。歌声教室・お菓子教室・スポーツレクリエーション教室に通っています。

30代の頃から徐々に目が見えなくなり、約15年前に視力がほぼなくなりました。病気が発覚した当時は、気持ちがかかり落ち込んでしまったそうですが、家族・友人・職場の理解と支えによって、リハビリや訓練を乗り越え、同じ職場で40年働き続けています。

そして、友人からの誘いでバンド活動を始め、自身も周りの人たちも元気を取り戻し、ボランティア団体「アコースティック虹色」を立ち上げ、高齢者施設や障がい者施設、学校の福祉教育など、さまざまな場所で活動するようになりました。また、上尾市内のお祭りなどにも、積極的に参加しています。

吉野さんは、「この活動を通して、音楽の力で人を元気にしたり、人と人をつないだり、仲間の輪を広げ、障がい者を特別扱いしない、共生社会」を目指していきたい。現在通っている”ふれあいハウス“は名前の通り、教室にただ一人で参加するのではなく、人と人とのふれあいがあり、皆で和気あいあいと楽しく利用することができる。」と、笑顔で話してくれました。

”ふれあいハウス“では、機能訓練・社会訓練・創作的活動など、様々な事業を行っています。今後も、社会参加や交流の場として、利用される方が自分らしくいられる居心地の良い場所を目指していきます。

利用者さんと地域との関わり

～誰もが支え合える
地域社会を目指して～





《令和元年 台風19号平方地区》

近年、全国各地で毎年のように大規模な自然災害が起こり、被災された方への支援等に関する報道を見る機会が多くなりました。私たちが暮らす上尾市でも、火災や水害が発生し、いつ、だれが、どこで災害に遭うかわからない身近な問題となっています。

では、地域で災害が起きたらどうすればいいのか、普段からできることはあるのか、改めて災害事例を通し、市民の皆さまと一緒に考える機会として開催します。

第32回 地域福祉を考える集い

「災害に備える」

～私たちは何ができるのか～

13:00～

- ・感謝状贈呈式
- ・小中学生作文コンクール表彰式

13:45～

- ・講演

● 日時 令和5年 2月18日(土)

13:00～15:00 [開場 12:30]

※当日会場の駐車場には数に限りがございますので、公共機関等をお使いください。

● 場所 上尾市コミュニティセンターホール

● 講師 そのざき しゅうじ
園崎 秀治 氏

地域・福祉・防災をともに考える「オフィス園崎」代表

全国域の立場から、多様なセクターとの連携に重点を置いて被災地の災害ボランティア活動の後方支援を行ってきた。災害発生時にはネットワークを活かした情報収集、被災地へ向いて全国段階の支援の必要性について見立てを実施。訪問した災害ボランティアセンターの数は130を超える。直近の被災地支援は令和4年台風15号災害（静岡県）。27年勤務した全社協を2021年退職、「オフィス園崎」として、防災、災害支援体制づくり、災害ボランティアセンターや災害派遣福祉チームの関係者育成、災害時事業継続計画（BCP）策定助言等、災害福祉支援体制構築に向けた活動を、全国域から市町村域まで展開している。



【定員】 130名 ※先着順

【申込方法】 電話又はFAXにて受付。「氏名」、「住所」、「電話番号(FAX番号)」、「地域福祉を考える集い参加希望」をお伝えください。

【申込期間】 令和5年2月1日(水)～定員になり次第締切

問い合わせ 地域福祉課 地域係 「地域福祉を考える集い」 担当

電話 048-773-7155 FAX 048-772-8647

月曜日～金曜日（祝日を除く） 9:00～17:00

火災・災害時における支援活動

上尾市社会福祉協議会（日本赤十字社埼玉県支部上尾市地区 事務局）では、台風や地震などの自然災害や火災により、住宅が全壊や全焼などの被害を受けた方へ、救援物資（布団・毛布・緊急セット）をお届けしています。



24時間365日の支援

上尾市内で住宅火災が発生した場合、消防署より社会福祉協議会へ一報が入ります。連絡は、24時間365日、常に受付をしており、社会福祉協議会職員は、連絡後即時に救援物資を積み込み、現地へ向かいます。

支援の例をご紹介します。

ご夫婦二人世帯のお家で住宅火災が発生したと連絡が入りました。連絡後20分ほどで現地へ到着し、被災された方のお話を伺います。火災発生時には外出しており、住民の方にケガはありませんでしたが、親族は遠方におり、身近に頼れる人はいないとのこと。その地域の自治会長さんへ相談し、当面の避難場所として、自治会館を使用させてもらうことになりました。

救援物資として、布団セット2組、毛布2枚、緊急セット1個をお届けしました。

深夜の火災対応

深夜に火災が発生した場合には、緊急連絡先となっている職員宅に消防署より連絡が入ります。

深夜2時に消防署からの連絡が入り、社会福祉協議会で救援物資を積み込み、1時間半後には現地へ到着。

三人世帯で、1人は救急搬送されるけがを負った状況でした。近くに親類の方がおり、避難ができることで、布団セット3組、毛布3枚、緊急セット1個をお届けしました。



緊急セット
(タオル、ティッシュ、絆創膏、携帯ラジオ等)



布団セット
(掛、敷1組、シーツ、枕)

災害時の支援

近年、台風や線状降水帯の発生などの過去にないような雨の影響により、各地で浸水の被害が増加しています。

上尾市内でも、昨年床上浸水の被害があり、救援物資を届けています。

また、令和元年台風19号による被害の記憶もまだ新しいところです。

少しでも不安を解消するために

火災や自然災害の被災直後は、緊張や今後の生活への不安を強く感じるのではないのでしょうか。

私たち社会福祉協議会は、この支援活動により、こうした不安を少しでも解消できればと願っています。

火災時の支援の流れ

火災が起きた場合、消防署より上尾市社会福祉協議会へ連絡が入ります。
※自然災害の場合も、上尾市より連絡が入ります。

上尾市社会福祉協議会職員が火災現場へ急行し、罹災された方のお話を伺い、必要な救援物資の確認を行います。

自治会長さんと連携し、必要な救援物資を避難先へお届けします。

令和5年度 日本赤十字社募金にご協力をよろしくお願ひします。

日本赤十字社埼玉県支部上尾市地区では、5月を赤十字運動月間として活動資金のご協力をお願いしています。

上記の支援活動にも、皆さまの募金の一部が役立てられています。

ご協力をお願いいたします。

上尾市社会福祉協議会会員を年間を通して募集しています。

1口 500円

社会福祉協議会が行う、地域福祉活動のために活用しています。ご協力をお願いします。

〈受付場所〉 上尾市総合福祉センター、ボランティアビューロー、各支部拠点
〈加入方法〉 専用の封筒に氏名・住所・口数をご記入いただき、口数分の会費を入れ、窓口へお渡しく下さい。

令和四年度

小中学生作文コンクール「感謝と成長のエピソード」

～支えあいの実体験を通して感じた思い～

”人とのつながり“ ”地域での支え合い“をテーマに、上尾市内の小中学生を対象に作文コンクールを実施しました。多数の応募の中から、15作品が受賞されましたので、その中から最優秀賞の2作品をご紹介します。

受賞作品 (敬称略)

小学生の部 最優秀賞 (会長賞)

中央小学校 六年 星野 太希

中学生の部 最優秀賞 (会長賞)

東中学校 一年 平鍋 文菜

市長賞

原市小学校 六年 齋藤 華

瓦葺中学校 二年 丸山 玲南

教育長賞

富士見小学校 六年 山本 伸吾

瓦葺中学校 二年 佐々木優羽

審査員特別賞

中央小学校 五年 高谷 莉央

西中学校 三年 島田 陽向

上尾中学校 一年 漆原 未侑

優秀賞

大石南小学校 五年 岡田 涼昌

原市小学校 四年 石田 希彩

瓦葺中学校 二年 福田 夕葵

瓦葺中学校 二年 松澤 咲弥

瓦葺中学校 二年 金井菜那璃

瓦葺中学校 二年 鈴木 萌華



小学生の部 最優秀賞

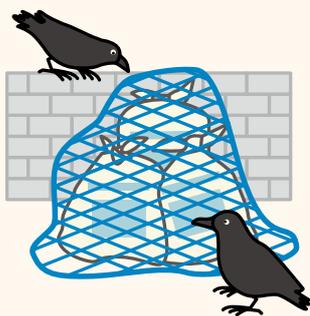
「カラスが気づかせてくれたこと」

中央小学校 六年 星野 太希

ぼくの近所ではゴミ出しの日、よくゴミ置き場でカラスがゴミを食い荒らしています。家の塀の前をゴミ置き場にしていてくれるお向かいさんをはじめ、近所の方と、ぼくのお母さんが交代で、ゴミ収集の日に、ゴミがカラスに荒らされないように、ネットからはみ出さないよう工夫してゴミをつめたりし、カラスに対応しています。

夏休みの初めの頃、お母さんが仕事に行く日、カラスがゴミ置き場でゴミを荒らしていたそうです。しかしお母さんは、急いでいたので、メールでぼくにカラスの対応をお願いしてきました。生ゴミのおいがきつかったり、何度もカラスを追い払ったり、重いゴミ袋をネット内につめたりするのは、根気のいる作業でした。この作業をやりながら、お母さんたちへの深い感謝の気持ちが湧き出てきました。それと同時に、近所の人たちとのカラスの対応のつながりの輪に入れた気持ちになって、役に立てるという感じがしました。陰でこんなめんどくさい作業をやっていることを知れば、何も考えず適当にゴミを置いてある人たちも、気づかいてくれると思います。

今後ぼくは、今までカラスの対応をしてくれた人たちの負担を減らすために、その人達のお手伝いをしたいと思っています。また、このカラスのことで、他のことも陰で支えてもらってるんじゃないかと考えるようになりました。これからは細かいところまで目を配らせて、カラスの対応をしていてくれる人たちのように、人の役に立ちたいと思いました。





中学生の部 最優秀賞

「地域のきずな」

東中学校 一年 平鍋 文菜

初めましてと言うのは、ちょっぴり緊張する。それが、地域の中の関係だったら、そのハードルも下がるだろう。しかし、私は、自分が地域の人との関わりが薄くなっているのではないかと危機感を持っている。ここ数年で、自粛生活が続いたり、行事の回数が減ったりすることで、このように思う人も多いだろう。昔は、もともとたくさんの人と助け合って暮らしていたと。これからは、自らがきっかけをつくって、地域で生きることが大切になると私は考える。

私が小さいころ、アッピーランドでよく遊んでいた。アッピーランドは、十八歳までの子供が対象の、児童館だ。雨の日でも、屋内の遊具でめいっぱい体を動かせて、晴れの日には中庭で日の光を浴びながら活動することができる、お気に入りの場所だった。中でも、思い出に残っているのは、中庭の砂場だ。なぜなら、初対面の友達と、関わられた経験が多かったからだ。

当時は、よく砂の山を作って遊んだ。砂場では、スコップやバケツなどの遊具を、いくつか借りることができた。もちろん、人が少ない時は、思う存分に使うことができた。しかし、人が多い日は、どうしても道具が足りなくなってしまう時がある。その様な時は、前の人が使い終わるまでの順番を待ったり、年下の子にゆずったりした。この砂場は、不慣れた時こそ、社会性を育むチャンスを与えてくれた場所だったのだ。また、次の様な出来事もあった。私が砂の山を作っている途中、同じぐらいの年の子が、一緒に作り始めたのだ。二人で協力して完成させた砂の山は、私の大切な思い出の一つである。名前も知らない初対面の人と、これほどまで意気投合できたのは、これが最後かもしれない。さて、七月末に行われる、上尾夏祭りはご存じだろうか。たくさんのお屋台と、華やかな神輿を見ていると、その場にいるだけでわくわくしてくる。私は、小学生の時に、父と祭りの手伝いをしたことがある。神輿を担ぐ方々に、飲み物や軽食を配るのだ。今まで、遠くから見ているだけだった神輿は、近くで見るともっと豪華で、重そうだった。汗だくで町内をめぐる、会の人のあふれ出すほどの熱意に尊敬する。私も、真心込めて挨拶と共に飲み物を渡し続けた。そ

の日は、目を見張るほどの晴天で、数十分滞在しただけでも疲れが出る。それでも、たくさんの人に貢献することができた。やり切れたのは、互いに交わした挨拶のおかげだった。初対面の人とも、祭りを成功させたいという同じ目標を持った。あの時に感じた、地域のつながりは、とても強く、深いものだったに違いない。

しかしながら、今までのエピソードは学生までの出来事で、中学生になってからは地域との関わりが薄れてきたように思える。実際、私は今年の夏祭りには行かなかった。同級生に聞いても、行く予定が無いという話もちらほら聞いた。難しくなる勉強や日々全力をそそぐ部活動、さらには習い事も本気になる中学生だ。私たちは、特に、行事などの参加がおっくうになってしまっているかもしれない。今回の夏祭りも、私にとっては学期末の忙しい時期にあり、行く事が難しかったのが現実だ。でも、絶対に行けなかったわけではなかった。二〇二〇年、二〇二一年と中止になってしまった夏祭りは、無くなってからさびしさを感じた。やっと実施する事ができた今年の夏祭りには、行くべきだったと思う。行事への参加は、その場でしか味わえない魅力が一杯あるからだ。一方、SNSが広まった事により、対面せずとも、会話や情報を得る事が出来るようになった。良い面でもとらえれば、便利になったといえる。だが、行動力も下がるだろう。それにより、地域との関わりが薄まってしまふ可能性も考えられる。今こそ、地域のきずなを試す試練の時代だろう。これからは、行事や施設に頼る他にも、私たちが率先して人々をつないでいく必要があると思う。

私は、たくさんの方々が支えてきてくださったおかげで、ここまで成長することができた。思い返してみると、思い切り遊べる施設や、たくさんの方々のことを学べた行事など、どの思い出にも誰かとのつながりがみられる。一方、様々な事が便利になって、外に出ずとも何でも出来るようになった今、地域のつながりを重視していく必要がある。これからの上尾が、人々のつながりが深い町であるには、私たち一人ひとりが動き出さなければならぬはずだ。今後、私は気持ちの良い挨拶を心がけたいと思う。小さなことでも、誰かの笑顔のためになるはずだからだ。より良い地域のために、みなさんも、自ら動き出してみてほしいと思う。



生活福祉資金 貸付のご案内

「生活福祉資金貸付制度」は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談・支援を行うことにより、経済的自立と生活の安定を図ることを目的とした公的な貸付制度です。

実施主体は埼玉県社会福祉協議会となり、相談や借入申請等は上尾市社会福祉協議会で受け付けています。

- ✓ 「世帯」に対する貸付です。
- ✓ 貸付により「経済的自立が図られる」と見込まれることが必要です。
- ✓ 民生委員等の相談・支援が必要です。
- ✓ 他の貸付制度及び公的支援を優先してご利用いただきます。
- ✓ 事後申請は貸付対象外です。



学 費 でお困りの方に『教育支援資金』のご案内

学費等の捻出が困難な低所得世帯の学生に対し、教育支援資金貸付（無利子）を実施しています。

【貸付上限額・主な用途】

	教育支援費		就学支度費	
高校	35,000 円 / 月	授業料・通学 定期代等	500,000 円	入学金・制服代・ 教科書代等
短大・専門学校	60,000 円 / 月			
大学	65,000 円 / 月			

据置期間：卒業後6ヵ月以内

返済期間：20年以内

※貸付には審査があります

- ★ 「生活福祉資金貸付制度」には上記の他、総合支援資金、福祉資金（福祉費・緊急小口資金）不動産担保型生活資金等があります。

問い合わせ

上尾市社会福祉協議会
地域福祉課 地域係

☎ 048-773-7155

受付時間 9:00~17:00 月~金（祝日を除く）

ご協力をいただいた方々へ感謝状を贈呈いたします。

上尾市の地域福祉推進のため、本会を通じて寄付をされ、ご協力いただきました個人2名及び13団体の皆さまに、感謝状を贈呈いたします。対象となった皆さまをご紹介します。ありがとうございました。（順不同）



- 株式会社ベルク 上尾東店様
- 株式会社 上尾グリーンガーデン様
- 株式会社 スパンコア様
- 上尾遊技業組合様
- 埼玉土建一般労働組合 上尾伊奈支部様
- 全まるたけ労働組合様
- 株式会社 アイチコーポレーション様
- 三井金属鉱業株式会社 銅箔事業部様
- 上尾白ゆり会様
- 季節料理 太郎様
- 虹の会歌謡教室様
- 株式会社 コンチエルト コンサートホール上尾様
- 医療法人 上尾内科循環器科様
- 和氣昭祐様
- 大橋 一枝様

〈団体〉

〈個人〉

善意銀行・ボランティア基金にご協力いただきありがとうございました

お預かりいたしました寄付は、有効に活用させていただきます。

◆善意銀行

善意銀行 (寄付金)		
寄付者	寄付金 (円)	寄付先
内田 陽斗	7,720	上尾市社会福祉協議会
内山 茂代	7,993	上尾市社会福祉協議会
工藤 孝一	10,000	上尾市社会福祉協議会
誠屋酒店	2,062	上尾市社会福祉協議会
上尾市いきいきクラブ連合会	53,140	上尾市社会福祉協議会
原市八区さくら会手芸クラブ	20,000	上尾市社会福祉協議会
あげお祭り実行委員会	3,891	上尾市社会福祉協議会
虹の会歌謡教室	40,000	上尾市社会福祉協議会
原市九区いきいきクラブ	12,635	上尾市社会福祉協議会
上尾遊技業組合	100,000	上尾市社会福祉協議会
箕の木いきいきクラブ	14,034	上尾市社会福祉協議会
間宮 孝子	50,000	上尾市社会福祉協議会
みやした幼稚園	17,928	上尾市社会福祉協議会
埼玉土建一般労働組合 上尾伊奈支部	25,180	上尾市社会福祉協議会
上尾市立上尾中学校 2学年 龍見 とも乃 星野 梨奈 池田 凧 市倉 拓歩 岡本 耀太 原 美莉	16,527	上尾市社会福祉協議会
匿名	9,038	上尾市社会福祉協議会
匿名	2,000	上尾市社会福祉協議会
匿名	14,600	上尾市社会福祉協議会
いきいきクラブ原市八区さくら会	5,600	上尾市社会福祉協議会原市支部
弁財のK	2,000	上尾市社会福祉協議会大石東支部
戸崎ゴルフクラブ	6,400	上尾市社会福祉協議会大谷支部
株式会社 スパンコア	40,000	こども食堂「とまと」
株式会社 スパンコア	40,000	子ども食堂「でんでん虫」

◆令和4年9月1日～令和4年12月31日受付分 (敬称略・順不同)

善意銀行 (寄贈品)	
寄付者	寄贈品
コンサートホール上尾	お菓子 段ボール6箱
野本 米蔵	オムツ2袋、タオル15枚、固形石鹸15個など
株式会社 共隆	固形石鹸210個、洗顔用固形石鹸8個など
季節料理 太郎	おでんセット 300袋
上野自治会	蛍光灯 18本
石堂 保	単三乾電池 40本
デイサービスあおいそら	食品 段ボール2箱
株式会社 ソセイ	米 100kg
橋口 勝男	絵手紙用葉書 152枚 他
三井金属鉱業株式会社銅箔事業部	不織布マスク 20,000枚
上尾白ゆり会	フェイスタオル 1,100枚
十連寺	お菓子 段ボール1箱
清友会	飴 小袋280
小林 洋	玄米 120kg
匿名	男性用衣類 32着など
匿名	米 30kg、お菓子 段ボール1箱
匿名	キャスター付歩行者 1台
匿名	介助用車椅子 1台、シルバーカー 1台など

◆ボランティア基金

◆令和4年4月1日～令和4年12月31日受付分 (敬称略・順不同)

寄付者	寄付金 (円)
根貝戸団地自治会	4,300



令和4年度

赤い羽根共同募金 法人・事業所報告

今年度の赤い羽根共同募金運動にご協力いただきました法人・事業所の皆さまをご報告いたします。

今年度も、コロナ禍で厳しい経済状況の中でのお願いとなりましたが、「つながりをたやさない社会づくり」のため、多くの法人・事業所の皆さまから温かいご協力をいただくことができました。

皆さまからの善意は大切に『自分の町を良くするしくみ』のために使わせていただきます。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

(令和5年1月10日現在) (順不同・敬称略)

上尾東地区
株式会社大塚
ドラゴン株式会社
株式会社島村工業
愛仁クリニック
有限会社文栄堂
大沢精密工業株式会社
株式会社富吉
上尾セントラルテニスクラブ
上尾ゴルフリンクス
大宮石油株式会社
有限会社岡野自動車
中華料理宝来
株式会社共栄製作所
医療法人前田内科医院
小島製作所
山屋産業株式会社
宗教法人遍照院
税理士法人ルベール
上尾西地区
有限会社谷津サイクル
株式会社内田組
土岐歯科医院
株式会社上尾スイミングスクール
上尾南地区
医療法人藤塚医院
株式会社尾花ビル
有限会社京屋商店
医療法人藤仁会藤村病院
株式会社上尾サービスセンター
有限会社カネリョウ
有限会社安藤商店
医療法人社団福島医院
関口公認会計事務所
株式会社名取製作所
上尾テニスクラブ
医療法人社団宗仁会武蔵野病院

平方地区
株式会社マルマンコンサルティング
株式会社遠藤製作所
山忠わさび株式会社
有限会社小嶋製作所
株式会社平方ゴルフガーデン
株式会社フェニックス
株式会社井口工業
原市地区
はらいち団地歯科
宗教法人妙厳寺
妙厳寺幼稚園
千代本興業株式会社
株式会社ヒラノ
有限会社常陽会
宗教法人楞厳寺
宗教法人相頓寺
三井金属鉱業株式会社
大石地区
株式会社ヤオヒコ
株式会社山崎土建
日幸電機工業株式会社
上尾霊園
栄電業株式会社
原田産業株式会社
株式会社タスクスリー
上尾自動車工業株式会社
アジア耐火株式会社
大石建設興業株式会社
東邦鋼機株式会社
領工会
三美印刷
有限会社イナ企画
株式会社徳田ネジ工業
マナブオート
有限会社細野恒産
根本工業株式会社
有限会社谷島工務店
株式会社大亀鋳工所

上平地区
株式会社上尾グリーンガーデン
株式会社臼田ファインモータースクール上尾
甲原管工業株式会社
ヘアサロンやまと&なでしこ
株式会社フコク上尾工場
株式会社明生建設
日工精機株式会社
武重外科整形外科
有限会社ウチダ美装
上平大野接骨院
島村電業株式会社
株式会社今川工務店
寿ロジコム株式会社
株式会社中村設備工業所
日産プリンス埼玉販売株式会社上尾平塚店
大谷地区
こどもの園プラムハウス
UDトラック株式会社
藤倉食堂
斉藤自動車整備工場
西光寺護持会
かわぐちペットクリニック
有限会社長谷川電機商会



令和4年度 共同募金運動の報告

令和4年度赤い羽根共同募金実績

(令和5年1月10日現在)

地区名		実績(円)
戸別募金	上尾地区(計)	2,905,745
	①上尾東	1,242,428
	②上尾西	771,780
	③上尾南	891,537
	平方地区	589,738
	原市地区	2,543,231
	大石地区(計)	2,722,294
	①大石東	2,062,000
	②大石西	660,294
	上平地区	2,109,872
	大谷地区	1,712,897
	原市団地	104,801
	尾山台団地	198,708
	西上尾第一団地	257,805
	西上尾第二団地	231,495
小計	13,376,586	
法人募金・個人大口募金	671,928	
街頭募金	156,291	
学校募金	241,904	
職域募金	1,454,810	
合計	15,901,519	

令和4年度歳末たすけあい募金実績

(令和5年1月10日現在)

地区名		実績(円)
戸別募金	上尾地区(計)	1,890,956
	①上尾東	849,384
	②上尾西	447,260
	③上尾南	594,312
	平方地区	378,078
	原市地区	1,733,102
	大石地区(計)	1,652,972
	①大石東	1,205,000
	②大石西	447,972
	上平地区	1,482,742
	大谷地区	1,003,743
	原市団地	61,425
	尾山台団地	135,099
	西上尾第一団地	183,305
	西上尾第二団地	189,816
小計	8,711,238	
法人募金・個人大口募金	110,000	
街頭募金	307,440	
合計	9,128,678	

歳末たすけあい法人募金協力団体
西光寺／上尾市仏教会

共同募金運動にご協力いただいた方のご紹介

(順不同・敬称略)

戸別募金：上尾市自治会連合会／自治会長
学校募金：児童および生徒／保護者／学校職員
職域募金：上尾市自治会連合会
上尾市民生委員・児童委員協議会
上尾市いきいきクラブ連合会
学校職員／施設職員／団体職員
募金箱設置：イオンスタイル上尾店
総合福祉センター内

街頭募金：ボーイスカウト上尾市連絡協議会
ガールスカウト上尾地区協議会
上尾市ボランティア連絡会
上尾市いきいきクラブ連合会
輪太鼓虹の会
聖学院大学ボランティア活動支援センター
上尾市立南中学校
上尾市民生委員・児童委員協議会
上尾市農業委員会



募金の使い道については、こちらからご覧ください。

令和4年度 上尾市社会福祉協議会 会員募集の報告

会員に加入していただきました皆さま、誠にありがとうございました。最終報告は次号に掲載させていただきますので、ご確認いただければ幸いです。

また、会員募集は年間を通して行っておりますので、加入ご希望者はお気軽にお問合せください。

世帯・個人会員及び個人賛助会員報告

(令和5年1月10日現在)

区分	件数	金額
上尾地区	3,565件	2,064,925円
①上尾東	1,441件	820,275円
②上尾西	1,104件	693,100円
③上尾南	1,020件	551,550円
平方地区	958件	535,000円
原市地区	1,606件	953,901円
大石地区	3,018件	1,682,020円
①大石東	1,795件	1,002,200円
②大石西	1,223件	679,820円
上平地区	1,729件	1,053,000円
大谷地区	1,725件	952,500円
原市団地	164件	131,000円
尾山台団地	268件	172,600円
西上尾第一団地	257件	184,735円
西上尾第二団地	266件	256,510円
個人賛助会員	768件	607,000円

会費を使って実施している活動紹介

ご高齢の方や、障がいがある方など見守りを必要としている方を対象とした『あったか見守りサービス』事業にも皆さまからの会費が活用されています。皆さまのご支援が、暖かい地域づくりを支えてくれています。



見守り訪問の様子

特別団体会員及び施設会員報告

(令和4年9月13日～令和5年1月10日現在)

(順不同・敬称略)

上尾南地区 有限会社アカシ電業
平方地区 社会福祉法人永寿荘特別養護老人ホームご福あげお
上平地区 かしの木園保護者会
大谷地区 聖学院大学

傾聴ボランティア入門講座を開催します

傾聴とは（聞き手が相手の話を聴くときに）、相手の話を否定せず、相手の立場になって相手の気持ちに共感しながら、熱心に耳を傾けることです。

日時 令和5年2月15日(水)、2月22日(水)、3月1日(水)全3回
13:30～15:30

会場 上尾市文化センター 201集会室 上尾市二ツ宮750

内容 傾聴ボランティアを始めるための基礎的な知識と演習

講師 特定非営利活動法人 埼玉カウンセリングセンター 高倉 恵子 氏

対象 上尾市内在住・在勤・在学の方でボランティア活動や地域活動に興味・関心のある方

定員 30名（先着順・定員になり次第締切）

参加費 無料

申込み 電話及びHPからの入力フォームにて受付

申込期間 令和5年2月1日(水)～2月9日(水)

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、中止または変更となる場合があります。



↑
申込みは
こちら

問合せ 上尾市社会福祉協議会 地域福祉課 ボランティア係
TEL 048-773-7155 8:30～17:15
月～金曜日（祝日を除く）

成年後見制度講習会

～初めて学ぶ成年後見制度～

上尾市成年後見センターでは、市民の皆様へ成年後見制度の理解を深めていただくための講座を開催します。講師には、権利擁護に詳しい江口裕樹弁護士をお招きします。専門家による学びの場にぜひご参加ください。

日時 令和5年2月20日(月)13:30～15:30（開場13:00）

会場 上尾市文化センター 中ホール 上尾市二ツ宮750

内容 成年後見制度について事例をまじえて基礎から学習し、理解を深める。

講師 弁護士 江口 裕樹 氏 **対象者** 市内在住の方

定員 250名 **費用** 無料

申込み 電話またはFAXにて受付。氏名、住所、電話番号（FAX番号）、「成年後見制度講習会参加希望」をお伝えください。

申込期間 令和5年2月1日(水)～令和5年2月15日(水)

問合せ 上尾市社会福祉協議会 地域福祉課 権利擁護係
上尾市成年後見センター

TEL 080-3243-3361（直通）

FAX 048-772-8647

9:00～16:00 月～金曜日（祝日を除く）

※つながりにくい場合は、048-773-7155（代表）

あげおファミリー・サポート・センター アドバイザー募集

募集人員 若干名（臨時職員）

業務内容 ファミリーサポートセンターに関する業務全般

資格要件 保育士、幼稚園教諭、その他子供に関する資格保持者
普通運転免許証（AT車限定可）
パソコン基本操作ができる方（ワードの簡単な入力）

勤務場所 上尾市総合福祉センター

勤務時間 シフト制（月～金のうち4日）

① 9:00～16:00 ② 10:00～17:00

3ヶ月に1回程度土曜勤務あり

年1～2回、日曜勤務あり、年末年始は休日

給与等 時給1,100円、通勤手当、賞与あり、昇給あり

申込み 電話にて申込のうえ、面談

問合せ 上尾市社会福祉協議会 在宅福祉課 支援係
TEL 048-777-0941 8:30～17:15
月～金曜日（祝日を除く）

サービス提供責任者募集

募集人数 若干名（常勤嘱託職員）

採用年月日 要相談

資格要件 介護福祉士・実務者研修修了者
2013年3月までに介護職員基礎研修およびヘルパー1級取得者
普通運転免許証（AT車限定可）

業務内容 登録ヘルパーのシフト調整・介護技術の指導・関係事業所との連絡調整・計画書作成業務等

勤務場所 上尾市総合福祉センター（上尾市大字平塚724番地）

勤務時間 毎週日曜日から土曜日のうち、決められた日および時間（シフト制）

休日 週休2日 夏季休暇・福利厚生休暇あり

給与等 月額233,732円（処遇改善加算、ベースアップ加算、地域手当含む） 時間外勤務手当、通勤手当等当会要綱に基づき支給、賞与年2回、昇給あり

問合せ 上尾市社会福祉協議会 在宅福祉課 訪問介護係
TEL 048-773-7827 8:30～17:15
月～金曜日（祝日を除く）

※登録ホームヘルパーも引き続き募集しております。



令和5年度

ボランティア活動保険のご案内

3月7日より受付開始

ボランティア活動中の事故やケガ、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊した場合に支払われる保険です。

保険料	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
	350円	500円	550円

※保険料、補償内容等は毎年見直しがあり、変更となる場合があります。

補償期間 令和5年4月1日0時から令和6年3月31日24時まで
※年度途中の加入でも補償期間は3月31日で終了します。

受付窓口

♥ 上尾市ボランティアセンター

場所：上尾市大字平塚724番地 月～金曜日（祝日を除く）
TEL：048-773-7155 時間：8:30～17:15

♥ ボランティアビューロー

場所：上尾市柏座4-2-3 火～土曜日（祝日を除く）
TEL：048-776-1988 時間：9:30～16:30